



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2024. **10** 月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 406

国際会長：A. Shanvaskhan [インド] より良い世界のために、共に
Together for a Better World

アジア太平洋地域会長：Joan Wong [香港] 大きなインパクトを起こそう
Make a Great Impact

西日本区理事：鶴丹谷 剛 [神戸クラブ] つなげよう地域と世界 YMCAとともに
Connect Local and World with YMCA

九州部部长：大崎 隆 義 [熊本さくらクラブ] 始めからもう一度



みつかる、つながる、よくなっていく

鹿児島クラブ会長 新内 博之

2024-2025 年度第2回評議会・第43回九州部部会報告

鹿児島クラブ 松若 鉄比古

10月5日土曜日に第2回評議会が13時30分から熊本市の熊本県婦人会館で、九州部部会が16時から隣接のメルパルク熊本で開催されました。評議会には徳田、園屋、中堀各ワイズと松若が出席しました。議事として4議案が審議され、全議案が承認された他、報告としてクラブ会長、事業主査の中間活動報告、その他として長崎クラブの解消が報告されました。九州部部会では新内会長、新内俊昭、松永各ワイズ、新内会長の長女新内恵都コメット(小学2年生)も加わり計8名が参加しました。第1部の式典はバナーセレモニーで始まり、新内会長は初経験であるにもかかわらず威風堂々と登壇し、我がクラブの存在を示してくれました。その後、大崎部長の開会点鐘、部長挨拶、各来賓挨拶と式は滞りなく行われました。第2部の懇親会では、オープニングアクトとして詩吟と和太鼓が演じられ、特に和太鼓は乾杯前の空きっ腹の奥の奥まで強烈に鳴り響き度肝を抜かれました。乾杯の後では、新内恵都コメットがテーブルに同席した宝塚、京都ウェルの方々にビールを御酌してまわり、皆さん目を細めて喜ばれる光景も見受けられ、親睦に彩を添えた様子でした。宴も酩酊でのクラブアピールタイムで、京都ウェルクラブの20周年記念例会アピールに我がクラブ全員が壇上に上がり、声を張り上げて応援しました。部会も滞りなく終了後、場所を変えた二次会では、大崎部長も多忙の中急遽参加して頂き、宝塚、京都ウェルの方々とDBC締結当時の思い出話や皆の屈託ない近況話等で大いに盛り上がり有意義な時を過ごしました。この会を段取りして頂いた松永ワイズに感謝致しております。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



昨年はチアダンスのメンバーたちと一緒に出演という形では参加しましたが、先日出席者として久しぶりに九州部会に参加しました。とてもよく感じたのは、ワイズメンズクラブは、横の「つながり」がとても濃いことです。YMCAでもこの空気を感じますが、同じワイズメンということだけで、初めてお会いした方ともすぐに会話が弾み、打ち解けていく空気は、他の集まりであまり感じるこたない特別な雰囲気があると毎度のことながら思います。

この「つながり」の根底にあるものはなんだろうか、たびたび考えることがあります。歴史が好きな私は、滅私奉公という四文字熟語が頭に浮かびます。滅私奉公(めっしほうこう)とは、私利私欲を捨てて、公のために忠誠を尽くすことを意味する四字熟語です。「滅私」は私利私欲を捨てること、「奉公」は国や社会などの公、または、主人や主君・上位の者などに自分の身をささげて尽くすことを意味します。先の大戦中、日本国民の心がけるべきこととしてスローガンとされただけに、不適切だなおもいますが、調べてみると「滅私奉公」に対する言葉として、東京大学の伊東乾氏が造語した「活私開公」があるそうです。「活私開公」は、自分を活かすことが、同時に、公共社会に貢献することにもなることを意味します。まさに、ワイズメンの根底にはこのような精神が息づいているからこそ、あの独特の「つながり」が生まれているのではないかと思います。

もうひとつ思っていたのは、参加しているワイズメンのパワーと活力の源が、ワイズメンである理由が「みつかっている」ということではないでしょうか。ワイズメンである理由を持っているということは、自覚と活性をクラブにもたらしてくれるのではないかと考えています。少子高齢化の波はワイズメンにとっても決して無縁なことではなく、メンバーが減っていく流れはクラブの活力を削ぐ要因にもなりがちですが、私たちひとりひとりが大事にしていくべきことは、ワイズメンである理由をみつけ、自分を活かし、社会貢献という大義を忘れずに行動していくことではないかと九州部会に参加しているワイズメンの方々とのふれあいの中で学ぶことでした。

共生する社会とはウェルビーイング、すなわち共に「よくなっていく」が前提の社会です。私たちワイズメンズクラブの活動そのものがその縮図であると思うのです。担当主事時代から数えて、すでに15年近くにも渡るワイズメンズクラブと過ごした時間は、確実に自分の人生を豊かなものにしてきています。この先もひとりのワイズメンとして、つながりを大切に、ワイズメンとして実現したいことを常に探し、見つけ、みなさんが紡いできた鹿児島ワイズメンズクラブの灯を活発なものにしていきたいと、心新たにした九州部会となりました。



初めに、この度の能登半島豪雨により被害を受けられた皆様へお見舞申し上げます。震災からの復興途上にも関わらず心苦しい限りです。今後YMCAと連携上、出来得る支援を実施したいと思います。また、8月31日には西中国部会が台風10号の影響で中止となり本当に残念ですが、来年3月22日に再度同じく錦帯橋での開催が決定し、今から期待に胸を膨らませています。9月に入り部会が本格的にスタートしました。各部からのご報告も頂きますが、自身の所感を少しご紹介いたします。

7日、総勢400名ほど参加の京都部会では、ワイズアカデミー賞、各クラブ素人名人会と、部長主題通りのメンバーにフォーカスをあてたユニークなプログラムで、まさに京都部らしい圧巻の部会でした。私も瓦割り名人芸に参加し、通信教育空手3段の腕前(自称&偽証?)で全10枚割りを成功。当企画の京都グローバルクラブが見事優勝しました。大いに盛り上がり、楽しみました。翌日のびわこ部会では、『がもうの物語』創作ミュージカルに続き、敢えて形式ばらないスタイルで、岡村部長自らが挨拶から司会までのマルチタレントぶりをご披露。懇親会では美食を堪能しながら、織田信長の生まれ変わり尾崎ワイズによる歴史講演?・・・と思いきや個性溢れるライブパフォーマンスを楽しみました。びわこ部ならではのユニークながらも和やかな雰囲気に包まれたワイズらしい部会でした。14日の阪和部会の尾崎泰輔氏の元メカパンク勤務、高校野球審判員として『二刀流で生きる幸せ』の基調講演は、ワイズメンバー増強にも大変参考にもなり、関西人気質のユーモアと元高校球

見らしいパワフルで、魅力あるお話ぶりで、あっという間の有意義な時間でした。又、今期は早くも全6クラブに新入会員がご入会され、本当に心嬉しい限りです。この勢いで更なる会員増強を期待しています。

部会その他、八代クラブ35周年祝会に参加しました。クラブの柱事業としてのデイキャンプでは、キャンパー、リーダーとの関係性を長年維持され、ユースアクションでも支援の『熊本 YMCA ぶらつとほーむリーダー会』へも多大な支援をされています。今回の祝会をリーダー会との協力で開催された事、祝会の司会進行をリーダー会で運営された事に心が躍動しました。

部会や記念会を企画される側は本当に大変だと思いますが、だからこそやって良かったと思われると思います。このひと月、それぞれの個性溢れる会を楽しみ、学びながら、皆様の真剣で熱い思いを肌で感じました。そして多くの方との交流に刺激を受けました。まだまだ部会は続きます。私も全身全霊で楽しんでまいりたいと思います！

鹿児島クラブ 9月例会報告

鹿児島クラブ 園屋 高志

9月24日(火)に9月例会を行い、ゲストも含めて12名が参加しました。

今回は神村浩ワイズが経営されていた「珈琲館かみむら」を会場とし、久しぶりに食事(弁当)付きの例会行いました。そして、今回は「みんなで楽しく歌いましょう」という企画を実施しました。新内俊昭ワイズの奥様である新内良味メネットが、かつて小学校で音楽科の指導をしておられた先生であることから講師にお迎えして実現したものです。新内さんのアコーディオンやキーボード演奏に合わせて、童謡や懐かしい曲、季節の曲など7曲を、みんなで歌いました。新内さんのユーモアあふれる素敵な語りもあって、みんな楽しく気持ちよく歌うことができ、特に新内さんの巧みなリードで「もみじ」の輪唱がうまくいったときは、みんなで大喝采でした。

このほか、いざ立て、YMCAの歌、名残は尽きねなど、ハッピーバースデーの曲も、新内さんの演奏に合わせて歌い、最初から最後まで生演奏の素晴らしさを堪能し、私自身とても感動した例会となりました。最後に新内さんご夫妻と、演台を用意して例会場を提供された神村ワイズに改めて感謝いたします。



9 September 9月例会報告

日時：令和6年9月24日(火) 19:00～21:00

場所：珈琲館かみむら

出席者：12名

司会者：園屋ワイズ

9月例会の記録	クラブ在籍者	9名
	出席者	9名
	メネット	1名
	コメット	1名
	ゲスト	1名
	ビジター	0名
	メイクアップ	0名
	9月出席率	133%

今月の樹 ハギ(萩)



ハギはヤマハギを始めとするマメ科ハギ属の総称です。秋の七草としても有名ですが、草ではなく落葉低木です。ハギは細く枝垂れる枝に白や赤紫の小さな花をたくさん咲かせます。満開になると花の重みで枝がたわんでいるように見え、風にそよぐ姿は風情があります。花は、マメ科特有の蝶形花です。直径1～1.5cmほどの小さな花を枝いっぱいに咲かせます。ハギの花色には赤みの強い紫色をしています。他に白花種もあります。

葉は丸みの強い楕円形で三枚小葉です。少しくすんだようなグリーンをしています。華奢な枝と柔らかい印象の小葉が可愛らしいので、花が咲いていない時期も楽しめます。



今月の聖句

友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

ヨハネによる福音書 15:13



鹿児島ワイズメンズクラブ
WEBサイトはこちら▶



日本代表チャレンジ

チアリーディングとチアダンス(国際的にはパフォーマンスチアという名称)は一昨年オリンピック IOC に正式加盟し、ゆくゆくはオリンピック競技になる予定の競技にまで発展してきました。

それを受けて、国内ではチアジャパンという統括組織が誕生し、日本代表活動を通して、国内の競技レベル向上と普及の強化が行われています。

今回、静岡の CHEERS FACTORY (世界大会 6 回優勝)、愛知の SPG (世界大会 2 回優勝)、そして私たちの 3 チームで日本代表にチャレンジする活動を始めました。3 チーム合同でのチャレンジとなった背景を説明しますと、まず日本代表にチャレンジするためには 16 名以上のメンバーが必須となります。私たち 3 チームはこの人数を確保するために合同チームという全国初のチャレンジをすることとなりました。もともとこの 3 チームは 3 年前から夏休みに合同でキャンプをするほど互いに認め合い高めあってきた関係性があります。3 チームとも全国はもとより、世界の舞台で活躍してきた経験から、子どもたちのために何かチャレンジしてあげたいという理念から今回の日本代表にチャレンジする活動が始まりました。

AVENGER と名付けられたチームは、共に活動する時間は極端に短いのですが、限られた時間を濃いものにする、そしてはなれていてもつながっているとコロナ禍で学んだことを活かして、9/29 に行われた CDE チャンピオンシップに臨みました。

日本代表を選考する「グランドファイナル」という大会に出場するためには、国内 4 つの主要な大会のいずれかにおいて優秀な成績を収め、その大会を通して代表権を獲得しないといけません。そのひとつの大会が CDE チャンピオンシップなのです。その大会で見事代表権を獲得し、1/26 に東京で開催される「グランドファイナル」にて日本代表選考が行われ、選出されると 4 月に日本代表として最も権威のある国際大会(米国開催)に出場することになります。鹿児島からは 6 名のメンバーが参加しています。地域の枠を超えて、友情と知恵を最大限に活かして挑戦している彼女たちの応援をこれからもよろしくお願いします。

第 18 回鴨池校区夏祭り

10 月 12 日(土)に鹿児島 YMCA の地元である鴨池校区のイベント、かもなかフェスタに呼んでいただき、出演してきました。会場となった鴨池中学校には、地域の方々がたくさん訪れ、たくさんのご声援をいただきました。



鹿児島YMCA 新内 博之